



Joruri CMS 2020

メールマガジンプラグイン仕様書

プラグインの概要・機能について

プラグインの概要

Joruri CMS 2020へ、メールマガジンを配信するコンテンツをインストールするプラグイン。

プラグインの機能

■公開画面側

- ・希望者がサイト上からメールマガジンの読者として新規登録や登録解除することができる。
- ・配信したメールマガジンをバックナンバーとして公開することができ、配信日等で検索することができる。

■管理画面側

- ・メールマガジンの記事を作成・編集・削除等することができる。
- ・テスト配信先を登録し、読者に配信する前にテスト配信を行うことができる。
- ・性別や年代等、読者属性として自由に質問を設定することができる。

インストールされるコンテンツ・ディレクトリ・ピース

コンテンツ

■メールマガジン管理コンテンツ

メールマガジンコンテンツを管理するコンテンツ。
読者の管理や、読者属性の設定などを行うことができる。

■メールマガジンコンテンツ

メールマガジンの記事を管理するコンテンツ。
作成した記事を読者に配信することができる。

ディレクトリ

■新着一覧ディレクトリ（メールマガジン管理コンテンツ）

メールマガジン読者登録・編集・解除機能。
連携しているメールマガジンコンテンツの配信済みの記事を表示、検索することができる。

■バックナンバーディレクトリ（メールマガジンコンテンツ）

公開中のメールマガジンの配信済みの記事を表示、検索することができる。

ピース

ピース機能は無い。

インストールされるプロセス一覧

「サイト>プロセス」画面に追加されるプロセス

■メールマガジン読者更新

公開画面から登録された読者登録・登録解除申込情報を、管理画面上に反映するプロセス。

同じサーバー上にあるDBの「mailmagazine_requests」テーブルの情報を取得し、「mailmagazine_users」テーブルに登録する。また、申込から1日以上経ったメールアドレス未認証の申込情報を一括削除する。

「ログ>プロセスログ」に追加されるプロセス

■メールマガジン読者リクエスト更新

Webサーバーに保存された読者登録・登録解除申込情報を、CMSサーバー上の読者登録・登録解除申込情報に取り込むプロセス。

サーバー複数台構成の場合、このプロセスの実行が必要になる。

毎時9,24,39,54分（15分毎）に定期実行される。

■メールマガジン読者更新

「サイト>プロセス」の「メールマガジン読者更新」と同じプロセス。

毎時11,26,41,56分（15分毎）に定期実行される。

■メールマガジン配信

メールマガジン記事を読者に配信するプロセス。

記事で指定した配信開始日時にdelayed_jobが自動的に実行する。

メールマガジン配信時の処理の流れ

1. 記事に設定した「配信開始日時」にdelayed_jobが配信処理を開始する。
2. 記事の状態を「配信中」に更新する。
3. 配信対象となる読者のメールアドレスを配信ログ（mailmagazine_delivery_logs）テーブルへ「配信予定」状態でデータ登録する。
4. 「配信予定」状態のメールアドレスへメールマガジンの配信を行う。
5. メール送信に成功した場合は、配信ログのメールアドレスのステータスを「配信済」に変更する。
送信中にエラーが発生した場合は、配信ログのメールアドレスのステータスを「配信エラー」に変更し、「備考」にエラーメッセージを保存する。
また、「配信完了日時」に現在時刻をセットして配信ログデータを更新する。
6. 読者へのメール送信完了後、記事の状態を「配信済」に更新し、「配信済」「配信エラー」ステータスとなっている配信ログの総件数を取得して、記事の「配信件数」に保存する。

配信ログのステータスについて

■送信の際にエラーが発生し、送信に失敗した場合

ステータス「配信エラー」として配信ログに保存される。

エラー内容は備考欄に保存される。

(例) メールアドレスが不正な形式である等

■送信に成功したが、エラーメールが帰ってきた場合

送信自体は完了しているのでステータスは「配信済」として配信ログに保存される。

(例) メールアドレスが存在しない、メールボックスがいっぱいになっている等

公開画面側からの登録（解除）申込時の処理の流れ(1)

■公開画面側の処理

1. メールアドレス等を入力し、確認画面から内容を送信。
2. データベースの「mailmagazine_requests」テーブルに登録（解除）申込データと、下記の申込種別とステータスを保存する。
 - ・ request_type = “（登録申込の場合：subscribe、登録解除の場合：unsubscribe）”
 - ・ state = “（「メールアドレス認証」が有効の場合：disabled、無効の場合：enabled,）”
3. ※「メールアドレス認証」が「有効」の場合
入力したメールアドレス宛に「登録（解除）手続きのお知らせ」メールを送信し、登録（解除）手続きのお知らせメール送信完了画面を表示する。
届いたメールに記載されているURLにアクセスすると、登録（解除）申込データのstateの値を”enabled”に更新し、申込完了画面を表示する。
4. ※「メールアドレス認証」が「無効」の場合
申込完了画面を表示する。

公開画面側からの登録（解除）申込時の処理の流れ(2)

■定期実行（プロセス）側の処理

1. 15分毎に「mailmagazine_requests」テーブルの登録（解除）申込データをチェックし、stateの値が”enabled”のデータを取得する。
2. request_typeの値が”subscribe”の場合は読者登録・更新処理を行う。
「mailmagazine_users」テーブルに同一メールアドレスが既に存在する場合は、そのメールアドレスの読者情報を更新する。
メールアドレスが存在しない場合は、新規登録処理を行う。
3. request_typeの値が”unsubscribe”の場合は読者解除処理を行う。
「mailmagazine_users」テーブルに同一メールアドレスが存在するかチェックし、存在する場合はその読者情報のstateを”disabled”（無効）に更新する。
4. 取得したすべての登録（解除）申込データの処理が終わった後、申込時から1日以上経っている、メールアドレス認証が終わっていない（state=“disabled”）状態の登録（解除）申込データの削除を行う。

記事詳細画面のメニュー表示条件について

メニュー名	表示される条件
一覧	常に表示される
編集	<ul style="list-style-type: none">・設計者以上の権限・メールマガジンコンテンツの属するコンセプトの閲覧権限・記事の配信状態が「未配信」「配信予定」のいずれか
削除	<ul style="list-style-type: none">・設計者以上の権限・メールマガジンコンテンツの属するコンセプトの閲覧権限
複製	<ul style="list-style-type: none">・設計者以上の権限・メールマガジンコンテンツの属するコンセプトの閲覧権限
バックナンバー公開	<ul style="list-style-type: none">・記事の配信状態が「配信中」「配信済」「配信無」のいずれか・記事のバックナンバー公開が「非公開」 または <ul style="list-style-type: none">・記事の配信状態が「未配信」「配信予定」のいずれか
バックナンバー非公開	<ul style="list-style-type: none">・記事の配信状態が「配信中」「配信済」「配信無」のいずれか・バックナンバー公開が「公開」
テスト配信	<ul style="list-style-type: none">・有効なテスト配信先が1件以上存在・記事の配信状態が「未配信」「配信予定」「配信中」「配信済」のいずれか
即時配信	<ul style="list-style-type: none">・送信対象の読者が1件以上存在・記事の状態が「配信登録済」・記事の配信状態が「未配信」「配信予定」のいずれか
配信ログ	<ul style="list-style-type: none">・記事の配信状態が「配信済」